

## 請願・陳情 文書表

8・1臨

陳情第46号

受付年月日	8. 1. 16	付託委員会	子育て文教
提出者			
紹介議員	一		
提出者からの説明希望の有無	有・無		
件名と要旨			

(件名)

いじめの重大事態に関するデマの払拭を求めるについて

(要旨)

いじめの重大事態（市内中学校に在籍していた女子生徒が、令和3年3月23日に遺体で発見された事案）について、2024年9月にいじめ問題再調査委員会の再調査報告書が公表されたが、それ以降も再調査報告書で事実認定されていない内容（デマ）がさも事実かのようにインターネット上でいまだに広がり続けている現状がある。

また、X（旧ツイッター）等のSNSでは、いじめと疑われる事案の動画（暴力行為等）が投稿されるということが多くなり、その動画を見た不特定多数のアカウントが関係者と思われる人物を特定し、名前や住所等の個人情報をSNS上にさらし、拡散するという私刑が行われており（中には無関係な人もさらされている）、社会問題になっている。

そのようなアカウントが、再調査が終了し報告書も公表されている旭川市のいじめ重大事態について言及をしており、2021年4月に当該事案が報道されたときに生じた混乱が繰り返される懸念があり、旭川市としては一刻も早くデマを払拭するべきであると考える。

インターネット上で今現在も拡散され続けている再調査報告書で事実認定されていないデマの代表的なものとしては、「10人の加害者の未来と、1人の被害者の未来、どっちが大切ですか。10人ですよ。」という教頭が発したと言われる言葉で、2021年に全国ネットで放送されたワイドショーのキャプチャ画像とともに投稿され、その投稿は簡単に万バズ（「いいね」やリポストが1万回以上行われること）を達成し、既に個人の力では拡散を止めることはできないような状況となっている（なお、この発言については保護者説明会で教頭本人が否定したことは道内ニュースで報じられている。）。また、担任の教諭がデートを理由にいじめの相談を断ったというものも代表的なデマの一つである。

懸念される混乱については、次にまとめる。

- 1 当該中学校や旭川市役所、旭川市教育委員会への電話での抗議活動による業務妨害。
- 2 当該中学校やその周辺での街宣等による抗議活動によって生じる騒音や恐怖。
- 3 当該中学校やその周辺地域、既にインターネット上にさらされている関係者に対しての迷惑系ユーチューバーや有名インフルエンサーによる突撃行為。
- 4 無関係な人がインターネット上に個人情報をさらされてしまう。

(次頁に続く)

今津寛介旭川市長が再選時に掲げたキャッチコピーである「あなたと共に。」という言葉を考えると、当該中学校やその関係者、また当該中学校の周辺地域等に誹謗中傷が集中することは不本意であると考える。

なお、既に公表されている再調査報告書に基づく内容でのデマ払拭であることから、現在遺族と旭川市との間で行われている損害賠償請求訴訟への影響はないものと考える。

以上の趣旨から、次の事項について陳情する。

#### 陳情事項

- 1 旭川市のホームページに、代表的なデマについて、事実認定がされていないということを掲載すること。
- 2 今津寛介旭川市長の定例記者会見でこれらの話がデマであると明言すること。
- 3 旭川市と今津寛介旭川市長は懸念事項に挙げた行為について強く抗議すること。